

第31期 日野市立図書館協議会 令和6年度第2回 議事要録

【日時】令和6年7月24日(水) 14:00~16:30

【場所】中央図書館2階 集会室

【出席者】○図書館協議会委員

田代 守委員長、遠藤 直幸委員、吉岡 里美委員、畠山 秀保委員、馬場 章夫委員、

【事務局】奥住 大輔館長、関戸 寿憲副館長、谷 剛毅副主幹、星 まゆみ係長、高橋 寿恵主任

【配布資料】・令和6年度日野市立図書館の運営の状況に関する評価書(案)主要事業

- ・日野市社会教育施設(一部)個別施設計画
- ・ひの電子図書館サービスの現状及び今後のスケジュール
- ・ひの電子図書館コンテンツ貸出統計、コンテンツ閲覧統計

【次第・要点・意見・質問等】

I 開会

II 協議事項

1 図書館の運営の状況に関する評価について……資料に沿って説明

① 評価方法

令和5年度主要な取組⇒本日の会議で説明・質疑応答

第4次基本計画の取組⇒メール等で質疑応答(〆切 7/31)

〈意見〉評価方法について⇒個人的には2時間で意見をまとめることは難しいと感じています。来年からはもう少し議論の時間を設けていただければと思います。個人的には、ボランティアでも良いので、意見をまとめる時間が欲しいと思います。全体スケジュールは動かさないとおもいますので。

② 主要な取組・事業説明

1 第4次日野市立図書館基本計画の推進……資料に沿って説明

〈質問(意見)〉 昨年の評価書に関連し、絵本パックの対応状況(今年度)について

〈回答〉 3-1-①(2)乳幼児へのサービス内に標記。

中央図書館は継続で37セット設置

高幡図書館は6セット増やし、12セット設置

日野図書館は継続で10セット設置

平山図書館は4セット増やし、13セット設置

百草図書館は19セット増やし、24セット設置

〈質問〉図書館として、4次計画が開始されてから削減された業務があれば教えてほしい。

〈回答〉取りやめた事業としてはありません。ただし、業務効率化等の観点から、一例ですが、今回の評価書の評価方法を全ての項目から重点項目のみに変更させていただきました。

〈意見〉趣旨は理解します。一点残念なところは、主要事業のみだと、今年度実施された事業や継続している事業に対する評価がどうなるのかが気になります。

〈意見〉事業は減らず、業務としては少なくとも、電子図書館事業は新規業務として増加している。新規事業なので、当然導入の準備段階からも含め、業務は増えているかと思う。

〈回答〉電子図書館は、日々の業務も増えており、通常の図書館業務への影響も多くなっている。

- 〈意見〉同じ職員数で遂行できる業務には限界があると思う。業務を減らすのか、見直すのか、何かしらの形で行っていかないと、職員が疲弊する一方になってしまうのではないか。
- 〈回答〉その通りです。先ほどの事例に加えてですが、見直したこととして、庁内11課が関係する計画である子ども読書活動推進計画について、計画期間(5年間)を内容を大幅に変更せず(微修正)に、実質1年間延長することによって、実質的に事務量の負荷を軽減できるかと認識しています。
- 〈質問(意見)〉デジタルアーカイブの構築の説明内容について、「合計24件を追加することができた」とあるが、新しく24件追加したという理解で良いのか。
- 〈意見(要望)〉レファレンスサービス・読書相談サービスの充実の説明項目について、ミニ展示の内容について非常に良いことなので、毎月の隔月なのか頻度を記載した方が良いのではないか。
- 〈意見(要望)〉中央図書館のミニ展示、ヤングケアラー、2階展示コーナーなど、実施していることを利用者に分かりやすいようにPR(周知)をしっかりとってほしい。特に、2階にも行きやすいように。
- 〈質問〉子ども読書活動推進に関する記載について、特に平成27年度から継続して実施しているとの記載があるが、途中で実施していない期間があるのではないか。
- 〈回答〉実施していない年度はないと思います。
- 〈意見(要望)〉図書館の利用に障害のある方の読書環境の整備の項目における説明事項内に、「ボランティアを利用して」との記載があるが、「利用して」という表現は適切ではないのではないか。
- 〈提案〉「特に、ボランティアの方々を介して」のように変更して見てはどうか。
- 〈意見(要望)〉電子図書館サービスの導入の検討の項目説明事項内の文章表現において、新規事業であることをもう少し協調した表現にしてはどうか。
- 〈質問(意見)〉施設の老朽化対策の説明文章において、市として方向性が示された計画として認識して良いのですか。であるならば、少なくとも協議会委員に対しては計画書を配布した方が良いのではないか。
- 〈回答〉確認し、未配布の委員には早急に配布いたします。
- 〈意見(要望)〉レファレンスサービスについて、「レファレンス室だより」と掲載があるが、図書館報「ひろば」に掲載したものなのか、また、掲載回数など具体的な数値を記載した方が良いのではないか。
- 〈意見(要望)〉「小学生・中学生の読書調査」について、「詳細な報告書を提出することができた」と記載があるが、提出だけなのか、内容を計画等に反映できた、またはされているのか、記述があると良いのではないか。
- 〈回答〉事業項目 3-1-①事業の成果欄の中に「読書調査結果のまとめ」という項目内に内容を記載しています。
- 〈質問(意見)〉「たかはたブッククラブ」について、のべ54人が参加との記載があるが、実施回数の記載を入れなくて良いのですか。
- 〈回答〉事業項目 3-1-①事業の成果欄の中に「たかはたブッククラブの実施」として内容を記載しています。ただし、記載内容についてのべ46名とあるが、正しくはのべ54名に

なりますので修正いたします。

〈質問(意見)〉職員研修について、具体的な内容を説明した方が良いのではないかと。

〈回答〉事業項目6-3-①の事業の成果についての説明事項に記載してあります。

〈質問(意見)〉今年度の主要事業は2事業、昨年度は6事業、違いを説明してください。

〈回答〉主要事業としては、最終的に教育委員会内において調整した結果になります。よって、当該年度において、図書館として主要事業として取り組んだということになります。該当年度の事業の中で、特に力を入れる事業として表現したものになります。

2 「社会教育施設(一部)個別施設計画」の策定……資料に沿って説明

〈質問(意見)〉昨年度末に協議会内にご説明はあったかと思うのですが、その計画が最終的に進んで今回の形になったという認識で良いですか。

〈回答〉(案)の段階では、各委員には配布させていただいたと思います。その後、ご意見等を踏まえ、パブリックコメントや加除修正等を経て現在に至ることになります。

〈質問(意見)〉市民の声(アンケート)を実施しましたよね

〈回答〉昨年の夏頃にアンケート、最終段階ではパブリックコメントを実施しています。

〈質問(意見)〉素案の時に委員では無かったので、遡ってしまうかも知れませんが、公共施設の総量について記されていますが、図書館(職員含め)の総意として記されているのでしょうか。

〈回答〉施設総量については、上位計画である総合管理計画において日野市として示されている数値であり、図書館として認めた、認めていないというものではありません。なお、総量については、考え方として「縮充」という新たな表現がされています。日野市の歴史、建物の利用状況、財政状況、利用者の声等を総合的に捉え、極力サービスを低下させることなく、施設を複合化して共有を図るなどをして最終的に施設総量として減らしていくということになります。

〈質問(意見)〉市としての考えはそうなのかも知れませんが、縮小していくということについて図書館員としての意見はなかったのかという趣旨で聞きたかったということ。サービスの最前線にいる立場としては、多分反対するのではないかと思います。そのことをきちんと誰かに伝えないと伝える人がいない。市民の意見と言っても全員に聞いている訳ではない。その上で、図書館職員(プロ)として、この内容で出来ると言ったのであれば良いのかも知れませんが。

〈回答〉職員とは、説明や意見交換も含め可能な限り聞いたつもりです。職員数、事務量、財源等、状況は変化して来ています。このような状況の中で、職員の中でも年齢によって図書館のあり方や考え方も違いが生じていることも事実です。繰り返しになりますが、単なる施設削減ではなく、サービスのあり方を考えながら、質を落とさないで図書館運営をどのようにしていくかという視点も含め、職員とは話あって来ましたし、感じ取れたことです。

〈意見〉そのような議論なしに、全国的に国から削減ありきで検討しなさいと来ている話と認識している。そうではなく、きちんと現場の強い理念や意見がないと、国からの方針に流れて行ってしまう。最前線に立つのは、図書館の職員です。しっかりとされているな

ら良いのですが。

〈回答〉図書館としては、単なるトップダウンではなく、職員の声や利用者の声を聞きながらしっかりやっていきたいと考えています。

〈質問(意見)〉個別の施設としては詳しく書かれているかと思いますが、日野の図書館は一つの建物ではなく、それぞれの建物の集合体であるという感想を持っています。あくまでもその集合が図書館のシステムとなって機能していくことが日野の図書館であると思います。計画の中では、ある程度書かれてはいますが、そのことをもっと前面に出して記載して欲しかった。「これが日野の図書館だ」というような力強い文章(表現)がないことが、個人的には残念なところでした。

〈質問(意見)〉日野宿周辺施設整備の中で、複合化により共用部削減ということが足かせになり、結果として計画が貧しいものになり、図書館本来のサービスができるのかということが出てきてはいけないと考えています。日野図書館は、あの面積で中央図書館とほぼ同程度の貸出数があります。本来、あの面積(現状維持)で良い訳はないと考えています。

〈回答〉公共施設総合管理計画は市長をはじめ、市として位置づけされている計画になります。その中で図書館も公共施設の一部として対象になっています。今後、日野本町周辺地区については、他の施設も含め再編を具体的に考えていくことになります。

〈質問(意見)〉これからのサービスのあり方が不明な中で、図書館が小さくなってしまふことが残念。頑張っていただきたい。日野市立図書館は、貸出型ですよね。今の図書館は、対面型や課題解決型と言ってワンフロアの中でどんどん増えていきます。手狭な処で何ができるのかということになります。面積ありきで、図書館のサービスが低下することのないようにしてほしい。

〈回答〉日野市立図書館として必要なことは、当然、主張していきます。

〈質問(意見)〉多摩市立の図書館は 5,000 m²以上ある。日野の図書館はどうなんですか。人口や規模は多摩市の方が小さいですよ。周辺市の図書館の面積やサービス内容は調べられているのですか。そのことを踏まえて、日野はどうしていくのか比較は必要ではないですか。そうしないと、まちの魅力が低下するのでは良くないですよ。お金のために規模のことはばかり言っているのは良くないと思います。厳しいことは良く分かりますが、発展性がないと思います。

〈回答〉貴重なご意見として伺った上で、適切に対応していきたいと思えます。

〈質問(意見)〉中央図書館が他市よりも小さいという話を先ほどしたと思いますが、今の中央図書館は永劫的に中央図書館なのですか。

〈回答〉将来のことを断言は出来ませんが、現時点では中央図書館として存続していく予定です。

〈回答〉上位計画である公共施設総合管理計画を踏まえ、市内を 27 のブロックに分け公共施設を考えていくということです。その施設の中に、当然、施設として図書館も含まれるということです。

〈質問(意見)〉そのことがダメなのではないですか。

〈回答〉貴重なご意見として伺っておきます。

〈意見〉「今後の目指すべき姿を示すことができた」とありますが、どのような形で示したのか記述があった方がよいのではないのでしょうか。

〈質問(意見)〉長寿命化の定義として、60年から80年に延命されるということでしょうか。

〈回答〉ご認識のとおりです。

〈質問(意見)〉高幡図書館は長寿命化が困難と書いてありますが、理由を教えてください。また、将来単独建築になるのか、複合化になるのか教えてください。

〈回答〉現状として、耐震診断がされていないことや、劣化度調査等により、現時点では長寿命化が困難であるという表現になっています。また、今後、高幡地区の再編に伴い、単独建築になるのか複合化になるのか判断していくこととなります。

【報告事項】

1. ひの電子図書館の利用状況について
2. 中央図書館の登録有形文化財の登録について
3. 多摩市立図書館の視察について
4. 館報「ひろば」より

【その他】

1. 第3回協議会日程・・・10月中旬～下旬を予定 ※9月上旬に日程調整を依頼させていただきます。